提出日：20　　年　　月　　日

公益財団法人　高輝度光科学研究センター

安全管理室長　殿

特例区域立入承認申請書（ニュースバル）

|  |  |
| --- | --- |
| 所属部門 |  |
| 所属長\* |  | 印署名または記名捺印 |
| 担当者 |  | Tel |  |

LASTI/JASRI/理研所属の担当者名を記入。

外部業者の方は、作業を委託されたLASTI/JASRI/理研の担当者名を記入。

\* 所属長：部門室長、課長、またはリーダー等の管理職者。

　下記の者が、大型放射光施設（ニュースバル）において特例区域に立入る承認を申請致します。

なお、立入り時には、本申請書裏面の安全教育の内容を遵守して作業を行います。

作業者は太枠内記入。また、裏面の安全教育事項を理解した旨、署名してください。

安全管理室記入欄

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 所属機関名 | □JASRI　　　 | □LASTI　　 |
| □その他（ |  | ） |
| 所属機関代表者(LASTI、JASRI、および理研所属の方は記入不要) | 作業者がニュースバルにおいて作業することを認める者 |
| 役職名 |  |
| 氏名 |  | 印署名または記名捺印 |
| 作業者氏名 |  | IDNo. SPring-8IDを持っている方は記入 |  |
| 立入予定期間 | 西暦 | 20 | 年 |  | 月 |  | 日 | 〜 | 西暦 | 20 | 年 |  | 月 |  | 日 |
| 立入場所 | □実験ホール | □電源エリア |
| □その他（　　　　　　　　　　　 |  | ） |
| 作業内容 | □工事 | □点検・調整 |
| □その他（ |  | ） |
| 備考 |  |

|  |
| --- |
| 【線量等の確認方法、および管理目標値】 |
| 放射線量 | サーベイメータによる測定 | ：＜0.5μSv/h |
| 表面密度 | スミア法または直接サーベイ法 | ：表面密度限度の1/100未満 |
| 空気中濃度 | 集塵装置で捕集したろ紙を放射線測定器で測定 | ：空気中濃度限度の1/100未満 |
| 【記録を確認した主任者の氏名】　放射線取扱主任者 豊川 秀訓 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 承認日 | 20 年　　　月　　　日 | ICタグNo. |  |
|  |
| 承認者 |  |  | 貸出日：20 年　　　月　　　日 |  |
|  | 自署又は印 | 返却日：20 年　　　月　　　日(2024/02/01) |  |

【特例区域に立入る前に行う安全教育】

1. 安全確保のため、立入った場所の注意掲示に従うこと。
2. 人身事故、火災等の異常事態が発生した時は、直ちに守衛所(内線119)に連絡すること。

ICタグ

1. 特例区域内で飲食、喫煙、化粧直しなどを行わないこと。
2. 作業に関係のない場所や機器に近付かないこと。

ICリーダー

1. JASRIが貸与する特例区域入退用ICタグ（以下、「ICタグ」）を他人に貸与、譲渡しないこと。
2. 特例区域を入退域する毎にICタグを出入口扉近くのICリーダーに近付けて照合を受けること。
3. ICタグを紛失または破損した場合は、すみやかにJASRI安全管理室（内線5532）に連絡すること。
4. すべての作業終了後、すみやかにICタグをJASRI安全管理室に返却すること。

写真③注意表示

写真①特例区域表示

写真②管理区域
(使用施設)標識

1. 特例区域の出入口扉に特例区域を表わす表示(写真①)と管理区域を表わす標識(写真②)が貼られています。また、マシン収納部の出入口扉に通常の管理区域を表わす(写真③)が貼られています。特例区域立入者は、それより先に立ち入りできません。
2. 特例区域を設定した場所と期間を以下に示します。

**特例区域設定期間：2024年3月5日9時 ～ 2024年3月29日17時**



orage

**放射化物保管室**

Storage

 Facility

上記、【特例区域に立入る前に行う安全教育】の事項についてよく理解しました。

(2024/02/01)

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ICタグ No.　　　 |  | 作業者氏名： | （自署） |